

企業価値向上の軌跡

日立建機グループは、一連の中期経営計画のもと、外部環境の急速な変化と経営上の課題を考慮し、施策を着実に実施し、安定した基盤を築いてきました。

Go Together 2013 (2011～2013年度)

基本方針

グローバル経営への変革、
持続的な成長

主要成果

- マイニング事業の強化
- 部品・サービス事業の強化
- 直材費および物流費の低減
- 日立建機日本におけるRSS (Rental, New & Used Sales, Service) 体制の確立

時価総額

2013 年度	4,276 億円
---------	----------

売上収益

2011 年度	2012 年度	2013 年度
8,171 億円	7,724 億円	8,030 億円

GROW TOGETHER 2016 (2014～2016年度)

基本方針

グローバル建機メカとしての
ポジションを確立

主要成果

- 開発マーケティング強化・先端開発推進
・現地産化の拡大
・日立グループ技術の結集による研究開発(電子・電動化、ICT)の強化
- マイニング事業のさらなる強化
- SCM改革とモノづくり力強化
・販社と生産工場の一体化および総受注リードタイムの短縮
- 部品事業基盤の強化

時価総額

2016 年度	5,969 億円
---------	----------

売上収益

2014 年度	2015 年度	2016 年度
8,158 億円	7,583 億円	7,539 億円

CONNECT TOGETHER 2019 (2017～2019年度)

基本方針

バリューチェーンの深化

主要成果

- 部品・サービス事業の強化
・ConSite世界展開
- Bradken社/H-E Parts社買収
- 米英: レンタル開始
- 認定中古車事業の展開

時価総額

2019 年度	4,709 億円
---------	----------

売上収益

2017 年度	2018 年度	2019 年度
9,592 億円	10,337 億円	9,313 億円

Realizing Tomorrow's Opportunities 2022 明日の好機をつかみとれ (2020～2022年度)

基本方針

バリューチェーン+デジタル
ソリューション深化

主要成果

- 部品・サービス事業の強化
・ConSite世界進展
・部品再生
・Bradken社/H-E Parts社のアフターサービス事業の強化
- レンタルおよび中古車のグローバル展開
- デジタルマイニングの推進
- 日立建機グループ独自のグループアイデンティティ

時価総額

2022 年度	6,615 億円
---------	----------

売上収益

2020 年度	2021 年度	2022 年度
8,133 億円	10,250 億円	12,795 億円

BUILDING THE FUTURE 2025 未来を創れ (2023～2025年度)

基本方針

革新的ソリューションの提供で
真のソリューションプロバイダーへ成長

主要成果(2023年度)

- 米州の独自事業展開
- パートナー企業との協業による「ZERO EMISSION EV-LAB」設立
- 国内再生拠点の集約とグローバル再生拠点の強化
- 人的資本に関するISO認証取得
(2024年度)
- ニューコンセプト「LANDCROS」を発表
- フル電動ダンプトラック実証試験を開始
- ブレーキ サプライ社の鉱山機械コンポーネント再生事業を買収
- サークュラーエコノミーの実現に向けた取り組み強化

時価総額

2024 年度	8,490 億円
---------	----------

売上収益

2023 年度	2024 年度	2025 年度
14,059 億円	13,713 億円	進行中

※ 時価総額は期末時点のもので、自己株式を含む発行済株式総数×株価（3月31日終値）で算出